

柳沢

ムービールーム柳沢 「マンマ・ミーア！」

(2008年/アメリカ/1時間49分)
監督：フィリダ・ロイド
出演：メリル・ストリープ
アマダ・セイフライド ほか
ギリシャの小島を舞台に、結婚式を目前に控えた娘と母親をめぐる24時間の一騒動を、歌と踊りで陽気につづった大ヒットミュージカル。

時 2月8日(水) 14時～
場 柳沢公民館
対 市内在住・在勤・在学者
定 49人(申込順)
申 2月2日(木)9時から電話で柳沢公民館へ

※座席と入場時間を指定します。原則としてご本人のみの受付となります。

来館時・講座参加時のお願い


- ・自宅での事前検温、マスクの着用、入館時の手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日、平熱を超える発熱や体調不良がある場合は、来館をご遠慮ください。

谷戸 **くらしを彩る講習会**

ハーバリウムで生活に彩りをプラス

好きな色、好きな花を使って、くらしを彩る「ハーバリウム」づくりと一緒に楽しみましょう！

時 2月21日(火) 10時～12時
場 谷戸公民館
対 市内在住・在勤・在学者
定 12人(申込多数の場合は抽選)
講 南雲みさ(日本ハーバリウム協会認定講師)
料 800円(材料費)
※高さ10～12cm程度のボトル1本作成
持 持ち帰り用袋
申 2月9日(木)17時までに電話かメールで谷戸公民館へ




ハーバリウム(講師作品)

田無 **趣味の講座**

第1弾 ウクライナのエッグアート「ピサンキ」を作ろう

「ピサンキ」に寄せる思いと技術を楽しく学びましょう！


時 2月10日・17日・24日 金曜日
14時～16時半 全3回
場 田無公民館
対 市内在住・在勤・在学者
定 12人(申込順)
※西東京市公民館主催の手芸の講座に参加されたことのない方優先
講 飯野夏実(ピサンキ作家、陶芸家)
持 材料費300円・筆記用具・飲み物
申 2月2日(木)10時から電話かメールで田無公民館へ



エッグアート「ピサンキ」

保谷駅前 **地域講座**

こせうたが聞こえる 警女唄が聞こえる



「かつて毎年3月になると、大泉生まれの警女が下保谷に弟子を連れて来ていた」という記述が保谷市史編さん委員会編集・出版の「下保谷の民俗」に記載されています。旧高橋家の母屋で警女唄を聴き、下保谷の歴史を追体験しましょう。

時 3月2日(木)
①11時～12時②14時～15時
場 下保谷四丁目特別緑地保全地区(旧高橋家の母屋)
対 市内在住・在勤・在学の16歳以上の方
定 各回25人(申込順)
講 小関敦子
申 2月6日(月)10時から電話か市HP(申込フォーム)で保谷駅前公民館へ

▼**下野谷遺跡公園**
駅北口に1基、南口に3基、下野谷遺跡のマスコット、したのやムラの「した」と「のーや」とその家族のかわいらしいブロンズ像が立っています。駅南口にある家族像にはスピーカーが備わっていて、下野谷遺跡の案内を聞くことができます(写真)。

ここから南へ石神井川を渡り、急な坂を上ると下野谷遺跡公園にたどり着きます。

ここは縄文時代中期(今から約5千年前から4千年前)の環

▼**東伏見駅は「ちよこつと駅散歩」には絶好の駅**
昭和2年に上保谷駅として開業し、昭和4年の東伏見稲荷神社創建に合わせて、駅名を東伏見駅に改称しました。

北口からは、保谷駅に通じる「かえで通り」が延びています。南口西側には東伏見稲荷神社へと向かう一の鳥居があり、その先に二の鳥居があります。以前は桜の木が豊かにありましたが、なくなつた今でも参道の面影をたたえています。

駅の東にはアイススケート場や早稲田大学の東伏見キャンパスがある文教地区が広がっています。石神井川に向かって下っていくと馬術部の馬場などもあり、散歩にはうってつけの場所となっております。川の中をのぞいてみると、湧水がところどころに見られ、時々練馬区にある武蔵関公園に住むカワセミが下を飛び様子を見ることが出来ます。

▼**詩人茨木のり子の家**
下野谷遺跡公園の西側は低地になり、東伏見小学校へと続きます。その坂を下りる途中、ミカンの木のあるおしゃれな家が現れます(写真)。ここは代表作「自分」の感受性くらゐ「寄りかからず」などで有名な詩人茨木のり子の家です。昭和33年に建てられたこの家には生活を大切に

市内在住の方、駅周辺の特徴や昔の様子を紹介いたします。ちよこつと地域に気を留めて、日常の風景に新たな発見をしてみませんか。

▼**東伏見駅編**
状態集落で、南関東では傑出した規模と内容を誇っています。平成27年3月に一部が国史跡に指定されました。出土している土器から分かる集落の継続期間は約1千年間と非常に長く、また住居跡や土坑が密集して見つかっていることから、石神井川流域の拠点となる集落だったと考えられています。出土された多くの土器などは西原総合教育施設内の郷土資料室に展示されています。



南口にある「した」と「のーや」とその家族のブロンズ像と東伏見稲荷神社の一の鳥居(地図参照①)



茨木のり子邸(地図参照②)

また、旧保谷市の平和都市宣言の起草者でもあり、下野谷遺跡に触れたエッセイを「ほうやの教育」に寄稿するなど地域とのつながりもある文化人でした。

彼女が昭和28年、川崎洋同人詩誌『権』を創刊します。日本を代表する詩人の活動の場となった同誌にはその後、谷川俊太郎や大岡信らも加わりました。

没後10年の平成28年、「生活と創作の場であったこの家を地域の文化財として残したい」と新たに市民団体が発足し、柳沢公民館を拠点に活動しています。講演会、パネル展、朗読、合唱、会報発行等を通じて彼女の作品と生き方について学びを深めています。趣旨に賛同する仲間が増え続け現在200人を超えています。

